

2009年3月13日

カットサラダ・カットフルーツ商品に 環境にやさしいポリ乳酸製容器を全国で導入

株式会社西友は、カットサラダ商品とカットフルーツ商品に、環境にやさしい植物由来のポリ乳酸製容器を導入し、全国で展開します。昨年12月に関東エリアの店舗で導入し、順次展開してきましたが、3月16日から全店385店舗に拡大します。西友では従来これらの商品には石油由来のプラスチック容器を採用していましたが、トウモロコシを原料とした生分解性のポリ乳酸製容器に変更することで、石油の使用量を削減することが可能となります。また、デザインを変更することで、容器の強度を高めることができ、容器の重量も30%削減できます。

現在は、ポリ乳酸製容器をカットサラダ、カットフルーツ商品（36品目）で導入していますが、2010年までに、容器を必要とする青果商品の30%にポリ乳酸製の容器を取り入れる予定です。

西友では、親会社の米ウォルマート・ストアーズ・インク（以下、ウォルマート）と持続可能な社会を目指すために、長期的なサステナビリティ目標を共有しており、2013年までPB商品及び生鮮食品の容器包装の重量を5%削減し、更に、2012年までに環境に配慮した商品の売上シェアを5%にすることを目指しています。すでにウォルマートは、2005年から、カットサラダ、カットフルーツ商品に、ポリ乳酸製容器の導入を進めており、西友も同様の取り組みを行なっています。

西友では、お客様やお取引先様と共に、小売事業と一体化したサステナビリティ活動を行っています。容器削減の取り組みについては、2008年度には精肉分野で、「トレイの軽量化・白トレイへの集約」を実施するほか、水産では「冷凍パックエビのノントレイ化＝真空パック化」にも取り組みました。今後も食品から日用品、衣料品の各分野で環境配慮型商品の品揃えを拡充し、お客様に提供していく方針です。

商品例： GreatValue ミックスフルーツ 198円、 GreatValue コブサラダ 198円
販売店舗数： 385店舗



ポリ乳酸容器



カットフルーツ売場例

以上